

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・平成27年度厚真町演芸寄席
- ・胆振管内中学生英語暗唱大会
- ・エレンさんの英会話教室
- ・数字に見る厚真の子どもたちの生活
- ・スケートリンクのオープンについて
- ・成人式のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

胆振管内中学生英語暗唱大会

小納谷葉那さん（厚真中3年）、長門実空さん（厚南中2年）が入賞

第36回胆振管内中学生英語暗唱大会が10月24日、登別市の「のぼりべつ文化交流館カント・レラ」を会場に開催されました。

この大会には、8月に実施しました厚真町中学生英語暗唱大会の上位3人、小納谷葉那さん（厚真中3年）、長門実空さん（厚南中2年）、金澤美玖さん（厚真中2年）が出演し、堂々の発表を行いました。

審査の結果、小納谷葉那さんが第1位、長門実空さんが3位に入賞し、11月22日に札幌市で行われる北海道大会への出場権を得ました。



前列左から3番目が小納谷さん、5番目が長門さん

英語暗唱大会



↑表情豊かに発表する小納谷葉那さん

し身振り手振りを交えながら発表する長門実空さん



エレンさんの英会話教室

アメリカ出身の町ALT(外国語指導助手)エレン・マリアノさんによる1月から3月期の英会話教室の受講生を募集します。

日程 1月12日【火】から3月29日【火】

毎週火曜日 午後6時から7時

場所 青少年センター2階 研修室

対象 英会話に興味のある中学生以上の町民の方

内容 英会話や筆記を交えながら、外国の文化や生活習慣等について学びます。

申込み 教育委員会 社会教育グループ

問合せ Tel.27-2495 担当:辻

※受講を希望される方は、必ず申込みをしてください。

★小遊三師匠とナイツがやってくる！ あつまの師走に福を呼ぶ♪爆笑演芸寄席★ 平成27年度厚真町演芸寄席

★★★出演★★★

三遊亭小遊三

三遊亭遊雀

ナイツ

ほか



とき 平成27年12月2日(水)

午後6時30分開演(午後8時10分終演予定)

会場 厚真町総合福祉センター大集会室

主催 厚真町教育委員会

問合せ 社会教育グループ Tel.27-2495

♪入場無料♪

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施しています。

『厚真町教育フォーラム』平成27年1月17日(土)開催予定 ～学校・家庭・地域が連携して創る厚真の教育をめざして～

早寝・早起きで、健やかな心と体を

「寝る子は育つ」と言われていますが、本町の子どもたちの睡眠時間がどうなっているか気になるところです。

一般に睡眠時間は、小学生であれば、9時間から10時間、中学生であれば、8時間から9時間くらいは必要と言われています。

下のグラフでも分かるように、学年が進むにつれ、寝る時刻が遅くなる傾向があります。小学校高学年では、10時～11時に寝る子どもが2割を越えています。中学生になると、さらに寝るのが遅くなり、11時から12時に寝る生徒の割合が3割以上にもなっています。

子どもたちは、下校後、少年団や習い事などに通ったり、また家庭学習もしなければなりません。忙しい子どもたちですので、家に帰ってから寝るまでの限られた時間を有効に使うことが大切です。

しかし、アンケート調査によると、平日、テレビやビデオ等を2時間以上利用している子どもが約23%、携帯電話やスマートフォンを持っている子どもで、1時間以上使用している割合は約30%です。

テレビやゲームなどで、睡眠時間や勉強時間が削られているお子さんもいるようです。

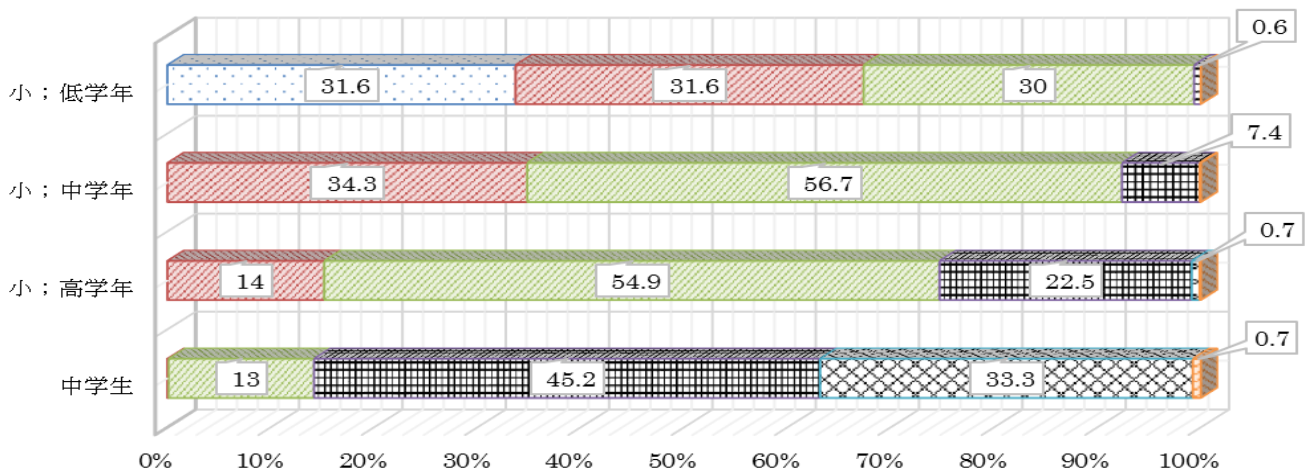
睡眠と脳の働きについては、次のようなことが指摘されています。

「夜ふかしをすると、成長ホルモンがたくさん出なくなるばかりか、睡眠時間が減ることで、レム睡眠という浅い眠りの回数が減ってしまいます。レム睡眠(浅い眠り)の間に、脳は昼間に勉強したことや経験したことを復習して、記憶として書き込んでいきます。レム睡眠の回数が減ると、せっかく勉強したことが記憶に残りません。」(川島隆太東北大学教授、「元気な脳が君たちの未来をひらく」より)

テレビを見る時間など、お子さんと一緒にルールを作り、夜ふかしを防ぎ、適切な睡眠時間を確保できるようにしたいものです。

『学校のある日は、何時ごろ寝ますか』

□ 8時前 ■ 8～9時 ▨ 9～10時 ▩ 10～11時 ▪ 11～12時 ▫ 12時以降



エレンさんの英会話教室を開講します

アメリカ出身の町ALT(外国語指導助手)エレン・マリアンさんによる1月から3月期の英会話教室の受講生を募集します。

エレンさんは今年9月に日本に来たばかり。楽しく国際交流をしながら仲良くなりましょう♪

日程 1月13日【火】から3月31日【火】

毎週火曜日 午後6時から7時

場所 青少年センター2階 研修室

対象 英会話に興味のある中学生以上の町民の方

内容 英会話や筆記を交えながら、外国の文化や生活習慣等について学びます。

申込み 教育委員会 社会教育グループ

問合せ Tel.27-2495 担当:辻

※受講を希望される方は、必ず申込みをしてください。



平成27年度厚真町成人式

平成27年度の厚真町成人式は、53人が対象となっています。日時、場所等は次のとおりです。

◆とき 平成28年1月10日【日】
午前11時から

◆ところ 厚真町総合福祉センター

◆対象者

平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出していても、保護者等が本町に在住している方。

◆案内状の発送・出欠について

対象となる方には、11月末頃にご自宅(ご家族)宛に案内状を送付します。出欠は案内状に同封の返信用はがきに記入のうえ、12月10日【木】までに返送ください。

ご本人が町内に不在の場合は、ご家族の方がご本人と連絡をとっていただき、返送をお願いします。

対象となっている方で、案内状の届いていない方は下記宛にご連絡ください。

◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495



スケートリンクのオープンについて

毎年ご利用いただいております町民スケートリンクは、来月オープンの予定です。今年も多くの皆様のご利用をお待ちしております。

◆利用期間

平成27年12月25日【金】〔予定〕から
平成28年 2月29日【月】まで

◆利用時間

午前9時から午後8時

※12月31日は

午前9時～正午まで

※1月1・2・3日は

午後1時～午後4時まで

※天候や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。

※利用時間内に除雪・散水等の作業を行う場合があります。その際は、滑走を中止し、作業にご協力をお願いします。



◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775(スポーツセンター)



10月定例教育委員会

10月30日に開催された定例教育委員会の会議の内容についてお知らせします。

◆報告事項

JAとまこまい広域農協から学校給食センターに新米「ななつぼし」50kg寄贈、厚真シンポジウムについてなど(11件)

◆議案

厚真町学校給食におけるアレルギー対応委員会設置要綱の制定について

◆協議事項

厚真町教育振興基本計画について、小中学校PTA役員保護者懇談会の開催について(2件)

◆その他

平成27年度教育委員学校訪問についてなど(2件)

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

歳末助け合いチャリティ演芸大会

厚真町婦人団体協議会では、「第37回歳末助け合いチャリティ演芸大会」を開催します。今年は22組、約100名の皆さんが歌や踊りなどを披露します。入場には1口300円の募金券を購入していただきますが、収益は社会福祉協議会に寄付されます。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。



◆とき 12月1日【火】12時開演

◆ところ 厚真町総合福祉センター 大集会室

◆入場料 1口300円の入場券(募金券)を購入の上、入場してください。入場券は当日会場でご購入いただけます。

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

年末年始の予定

年末年始の教育委員会所管各施設の閉館等の日程は、以下のとおりを予定しています。

◆青少年センター・創作館

12月31日【木】～1月5日【火】閉館

◆スポーツセンター・スタードーム

12月31日【木】～1月5日【火】閉館

今年も皆様のご利用ありがとうございました



図書室だより

青少年センター図書室

Tel 27-2495 (平日)

Tel 27-3977 (土日)

11月3日文化の日 図書フェスティバルを開催



11月3日、図書フェスティバルが開催され、100人以上の方にご来場いただきました。図書フェスティバルは町文化祭と合同で開催され、青少年センター図書室と総合福祉センターの2会場で行われました。

青少年センター図書室2階ギャラリーでは、北海道立図書館から借用した「昔懐かし時代劇展」と題し、大河ドラマのムック、時代小説や昭和30年代の漫画雑誌を展示しました。1階エントランスではしかけ絵本展を開催しました。

総合福祉センターでは2階ホールにおいて「子どもお楽しみコーナー」として昔の遊び体験や型抜き、輪投げ、射的、くじ引きコーナーを設け、幼児や小学生で賑わいました。

また、今年は札幌市から人形劇団オペレをお招きして、青少年センター2階ホールで「なかよし」や「井戸にまつわるおはなし」、手遊びなど1時間の公演をしていただきました。約100人の来場者から歓声と笑いがこぼれる楽しいひとときとなりました。



職場体験してもらいました

厚真高校と、厚真中学の学生がそれぞれ図書室で職場体験をしました。貸出操作や、配架処理、展示物の作成と様々な仕事を担当してもらいました。

図書室の仕事はカウンターだけではないので大変だったと思いますが、ここでの体験が将来の仕事を選ぶ際のヒントになってくれればと思います。



今月のおすすめ

個人と会社マイナンバー制度がわかる本
大槻哲也/著



2016年1月から運用が開始されるマイナンバー制度。

どんな場面で必要になるのか、マイナンバー通知書と個人番号カードの違いなど、具体的に紹介されています。

運用前に知っておきたい、使用してみて疑問に思った際に読んでみてください。

青少年センターからのお知らせ

【夜間プラネタリウム投映会～一等星でたどる冬の星座たち～】

秋の目印、秋の四辺形が西へ傾くころになると、少し寂しげな秋の星空から7つもの一等星が眺められる賑やかな冬の星空にかわっていきます。今回はこの7つの一等星を目印に冬の代表的な星座たちを見つけていきます。晴れていれば実際に天体望遠鏡で星をみていきますのでぜひお越しください。

とき 12月17日(木)18時30分～

ところ 青少年センター

※夜間の開催になりますので、小・中学生は保護者の送迎もしくは同伴が必要になります。

☆Pick up☆【～星に願いを～ふたご座流星群をみてみよう】

12月4日ごろから19日ごろまでふたご座流星群が活発になります(見ごろは14日の夜)。日没後から見る事ができるので防寒をしっかりして、ぜひ空を見上げてみてくださいね♪

※明かりの少ない、開けたところで見るのがベストです。暗い空では多ければ1時間に数十個の流れ星をみつけられるかもしれません。

新着図書紹介

ここに紹介した以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

文芸書

『あさが来た 上』

青木 邦子/著

京都の豪商に生まれたあさが、明治維新の荒波にもまれながら商いを学び事業を成功させていく…。NHK 連続テレビ小説の前半部分の小説化です。



- ・Aではない君と 薬丸岳/著
- ・犯人に告ぐ2 闇の蜚気楼 雫井修介/著
- ・風かおる 葉室麟/著
- ・掟上今日子の遺言状 西尾維新/著

児童書

『ギネス世界記録 2016』

クレイグ・グレンディ/著



世の中にある、あらゆる世界一を紹介する本の最新版。ONEPIECE やウルトラマンはどんな世界一を持っているのか探してみよう！

- ・ナイトサファリのサバイバル
ゴムドリコ。 /文 韓賢東/絵
- ・恋も友情もうまくいく！おしゃれ&心理テスト
井上裕子/監修
- ・まじょ子とハロウィンのまほう 藤真知子/作

一般書

『JA 解体

1000万組合員の命運』

飯田 康道/著

農協法改正案をめぐる議論をふまえて、JA グループがどう変わるのかを考える本です。また、先進的な地域農協の取り組みも紹介されています。



- ・JAが変われば日本の農業は強くなる
杉浦宣彦/著
- ・食品に関する法律と実務がわかる本
佐伯龍夫/著
- ・地域おこし協力隊 椎川忍/編著

絵本

『もうぬげない』

ヨシタケ シンスケ/作



自分でぬげるのに、お母さんが余計なことをしたからぬげなくなった。でも、ぬげなくってもこまらないんじゃないかな。…ぼくは服をぬいでお風呂に入れるのかしら。

- ・おしりたんていププッおodorobouあらわる！
トロール/作・絵
- ・ながぐつボッチャ〜ン 軽部武宏/作

図書室からのお知らせ

■12月の休館日

12月23日【水】は祝日の為、
12月31日【木】～1月5日【火】は
年末年始の為お休みです。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時～午後5時（月・水・金・土・日）
午前9時～午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時～午後5時（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。また、12月31日【木】～1月5日【火】は年末年始の為お休みです。

■12月の移動図書

4日・11日・18日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

9日【水】

ともいき荘 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ

おはなしのびっこ 12月17日【木】

午前10時30分から午前11時

クリスマス会をします

☆放課後子ども教室☆

季節は冬の始まりを迎えました。朝、外に出ると水たまりには薄氷が張り、霜柱が立った上を歩くと、ザクザクと良い音がします。雪の便りもそろそろ本格的に届く頃でしょうか。寒さに体が慣れるまではなかなかつらいものですが、子どもたちも風邪を引かず、元気に過ごしてほしいものです。

放課後子ども教室 10月後半の活動では、バルーンアート用の風船を使って遊んだり、視覚の不思議を体感するミニ実験教室などを行いました。バルーンアート用の風船は専用のポンプを使ってふくらまし、風船同士をつなげて花をつくったり、1本の風船から動物や剣をつくったりして遊びました。小さな風船をたくさんつくり、ブルーシートの上に集め、それを空中に舞い上がらせる遊びは、とてもシンプルなものですが、子どもたちは大喜び。何度も集めては舞い上がらせ、色とりどりに降ってくる風船を拾いに飛び回っていました。ミニ実験教室では、A4サイズの紙を1枚使い、目がモノを見る仕組みを利用した実験に挑戦しました。筒状にした紙を左右どちらかの目に当て、体育館の掛け時計など少し離れたところにあるものを見ます。対象物がのぞき込んだ筒の中におさまったら両目を開け、筒を当てていない方の手の平をゆっくり筒の横にもってくると、あら、不思議！まるで手の平に穴が開いたように見えるのです。最初はあまりよくわかっていなかった子どもたちも、コツをつかむと「わっ！穴が開いて見える！」と「なんだこれー？」と面白がっている様子でした。



10月の高学年の活動では、2週間にわたり、北海道教育大学岩見沢校4年生の畑嶋春美さんを講師に迎え、和太鼓に触れるプログラムを実施しました。厚真町郷芸保存会に所属し、町内外で和太鼓の演奏活動を行っている畑嶋さんから、卒業論文の作成にあたり、小学生への和太鼓の指導に関する素材・データを集めたいという相談があり、今回の活動につながりました。1週目は、クイズを交えて和太鼓の特徴を学んだり、リズムに合わせて打ってみたりしながら和太鼓に親しみました。2週目は、楽曲にチャレンジ！パートわけをして、口唱歌（くちしょうが）と呼ばれる手法で楽譜を読み込み、実際に演奏をしてみました。学校の授業でも触れたことのない和太鼓。参加した子どもたちの多くが和太鼓初体験で、ドーンっという大きな音に最初は驚いている様子でしたが、自分で打ってみることで音を出す楽しさを感じていたようでした。



11月に入り、吹く風はだんだんと冷たくなっているものの、平日、放課後の時間帯は天気にも恵まれ、子どもたちと外で遊べる時間をもつことができます。キツネの小判と呼ばれる、オオウバユリのタネを集めたり、学校林の倒木で木登りや基地づくりをしたり。ボールひとつにみんなが集まってサッカーや野球が始まるなど、良い意味で子どもたちが勝手に遊べる状況を、子どもたち同士が作り出しています。自分だけが楽しむのではなく、それぞれの遊びに得意・不得意があることをお互いに理解して、集まったみんなでおもしろい環境を自然と作っている様子に成長を感じました。

